

平成31年度 西区組織目標

組織名	西 区	部長	笠原 明夢
組織の目的・方向性	<p>少子・超高齢化により急速な人口減少が見込まれる中、都市部と農村部がバランスよく存在し、豊かな自然環境などの西区の特徴を活かし、区ビジョンでの区の将来像「都市と農村が融合する、うるおいの住環境と優れた学術環境に育まれるまち」の実現のため、「人と人がつながり、安心・安全に暮らせるまち」、「都市と農村が融合するまち」、「だれもが学び合える学術と文化のまち」、「豊かな自然と快適な住環境を大切にするまち」、「地域と区役所が共に歩むまち」を目指した「まちづくり」を進めていきます。</p>		

西区組織目標

西区では、区の将来像の実現のため、様々な分野での取組を総力あげて進めていきます。

特に、地域のなかで人と人とのつながりを大切に、ともに支え合い、いつまでも元気で健康的に、そして安心・安全に暮らせるまちづくりを進めていきます。

また、地場産農産物のブランド化を進め、生産・消費の拡大とともに、農商工連携による付加価値化や商店街の活性化へ繋げていきます。

この方針のもと、今年度は、次の5つの目標に重点的に取り組みます。

重点目標

- 1 高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できる支え合いのしくみづくりを進めます。
- 2 健康寿命の延伸を目指し、健康づくりを推進します。
- 3 子育て中の親の孤独感、不安感を軽減させ、健全な子育てを支援します。
- 4 地域防災力向上のため、津波や洪水などの自然災害から自らの命を守ることができる地域づくりを進めます。
- 5 「くろさき茶豆」や「いもジェンヌ」など西区の特産農産物の知名度向上と消費拡大を推進します。また、農商工連携により高付加価値化・ブランド化に取り組み、商店街や地域の活性化にもつなげます。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	5	達成数	3
取組結果	<p>急速に進む人口減少に伴い、少子・超高齢化への対応を中心に取り組みました。</p> <p>超高齢社会への対応では、高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できる地域の実現のため、支え合いのしくみづくりの推進に取り組みました。</p> <p>「訪問型生活支援サービスの創出」や「地域の茶の間の増加と拡充」を進</p>				

めるにあたり、地域の皆さま同士の支え合いの必要性を周知し支援を行った結果、平成 29 年度からの累計 44 件、今年度では 10 件の目標を達成することができました。「地域の茶の間の増加・拡充」は、地域の皆さまのご協力により順調に増加し、「訪問型生活支援サービスの創出」は、地域の中で検討が始まってきています。

人生 100 年時代が到来し超高齢社会を迎える中、区民の皆さまがいつまでもお元気で長生きしていただけるよう、健康寿命の延伸のため、健康づくりと介護予防に取り組みました。特定健診の受診率アップに向けて、未受診者への健康に対する意識付けが必要なことから、ロコミで健康づくりの必要性や発信・啓発を行っていただく「健康リーダーの育成」に取り組んだほか、「西区発!健康ステップアップチャレンジ」などの健康づくり事業を実施し、目標を超える 2,324 人に参加いただきました。また、血糖・脂質・血圧が有所見であるハイリスク者が多いという西区の健康課題を踏まえ、「ハイリスク者健康相談」などを実施し、区民の健康寿命の延伸に取り組みました。

少子化に対応した子育て支援では、乳幼児から学齢期(前期)までの各期に渡る子育て支援講座を実施したほか、新たに妊娠期から 3 歳未満の子育て中の区民を対象に、SNS(LINE)で子育て情報を発信する「にしっこはぐくみ LINK」を 7 月から開始し、登録目標を大きく上回る 1,740 名にご利用いただき、子育て中の親の孤独感、不安感の軽減や、健全な子育てを支援しました。

本年度は 6 月の山形沖地震や 10 月の台風 19 号などの自然災害が発生し、防災・減災に向けた日頃の備えが必要となっています。地域防災力の向上のため、津波や洪水などの自然災害から自らの命を守ることができる地域づくりを進めるため、希望する自主防災組織に対し、区から防災専門家を派遣し、「地域の避難マップ」を目標の 8 地区で作成していただきました。作成はワークショップ形式で実施し、地域の皆さまが専門家のアドバイスを受けながら、お住いの地域の自然災害の特徴や避難行動について話し合い、避難マップの作成とともに防災意識の向上も図ることができました。

産業の振興では、国の地理的表示保護制度の登録産品「くろさき茶豆」や、食と花の銘産品「いもジェンヌ」をはじめとする、西区の特産農産物の PR・販売促進活動を、首都圏のみならず、様々な機会を捉えて積極的に展開し、目標を超えて特産農産物の発信と消費拡大に取り組みました。

また、「くろさき茶豆」の一層の知名度向上を目指し、「くろさき茶豆夏の陣」を茶豆の収穫時期に合わせて約 1 か月間開催しました。期間中は 3,500 人の来場者により賑わいのある「当日座」を開催したほか、協力飲食店での茶豆メニューの提供は、地元の黒埼地区に加え、新たに赤塚・内野地区の店舗にもご協力いただき、目標を超える 20 店舗で実施し、商店街

	<p>や地域の活性化にも取り組みました。</p> <p>「いもジェンヌ」では、JAや商工会などで構成する「いもジェンヌ農工商連携協議会」とともに「いもジェンヌ」の生産拡大支援やイベントなどを通じたPRを実施し、一層の消費拡大を図ったほか、区内の全小学校で「西区一斉いもジェンヌ給食の日」を開催するなど、食育の推進にも取り組みました。一方、いもジェンヌの栽培面積は、一昨年の大雪で育苗施設が倒壊した生産者が耕作をやめたため、目標の耕作面積を下回る結果となりましたが、他の生産者がその減面積を補うために尽力いただいたことにより、わずかな減少に留まりました。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の方向性</p>	<p>高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できる支え合いのしくみづくりを進めるため、引き続き、区民の皆さまから支え合いのしくみづくりをご理解いただくための研修会を開催するとともに、今年度作成した啓発パンフレットを活用し、支え合いのしくみづくり推進員との連携により、「訪問型生活支援サービスの創出」や「地域の茶の間の増加と拡充」を促進するとともに、地域での支え合い活動を支援していきます。</p> <p>健康寿命の延伸と介護予防を進めていくには、個人が率先して健康づくりに取り組むことが重要であるため、区主催の健康づくり事業のほか、自治会や地域の茶の間などへ出向いての健康づくり支援を進めます。また、特定健診受診率のアップに向けて、未受診者への受診勧奨のほか、ロコミによる健康づくりの発信・啓発が有効であることから、引き続き健康リーダーの育成に取り組みます。</p> <p>子育て支援では、子どもの各年代に対応した子育て支援講座を開催するほか、SNS（LINE）で情報を発信する「にしっこはぐくみLINK」の内容や広報の充実を図っていきます。また、妊娠期の方を対象に、新たに地域子育て支援センター等において「プレママ・プレパパ教室」を開催し、出産後にスムーズに子育て支援センターを利用・相談いただくことで、切れ目のない支援を進め、育児の不安や孤独感の軽減、仲間づくりに取り組んでいきます。</p> <p>地域防災力の向上に向けて、「地域の避難マップ」の作成については、作成を希望する地域の存在に加え、地域の防災意識の向上に効果があることから、次年度も引き続き取り組みを進めていきます。</p> <p>産業の振興では、「くろさき茶豆」をはじめとする特産農産物のさらなる知名度向上のため、市内及び首都圏におけるPRを引き続き実施するとともに、農工商・大学・県や銀行などとの連携により、一層の販路と消費の拡大、高付加価値化とブランディングの確立に取り組みます。また、新規生産者の増加や栽培面積の拡大に向けて、JAと共に検討を進めていきます。</p>

平成31年度 西区組織目標に掲げた取組の指標一覧表

1 高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できる支え合いのしくみづくりを進めます。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価		
				項目(単位)	2016実績	2017実績	2018実績	2019目標	2019結果			補足・参考指標	
1	健康福祉課	高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できる支え合いのしくみづくりを進めます。	・住民主体の訪問型生活支援 ・地域の茶の間支援事業 ・支え合いのしくみづくり啓発事業 ・地域の茶の間ハスツアー	地域住民等を主体とした訪問型生活支援サービスの創出、茶の間の増加及び拡充(累計件数)	—	18	34	44	44	44	・地域包括ケアシステムの推進に向けて、支え合いのしくみづくり会議や推進員、地域団体等と連携し、日常生活圏域ごとに住民主体の生活支援サービス等を創出します。 (1)訪問型生活支援サービスの創出 (2)地域の茶の間の増加 (3)地域の茶の間の開催頻度の拡充(週1回開催への移行)	地域の茶の間の新規が9件、拡充1件と順調に伸び、目標どおり、累計44件となり、支え合いのしくみづくりを進めることができました。	達成
			支え合いのしくみづくり啓発事業(開催数)	—	2	2	2	2	2	・地域包括ケアの推進に向けて、住民主体の訪問型生活支援サービスや地域の茶の間の啓発に向けた講座を開催します。	支え合いのしくみづくり研修会を9月30日に開催し、約100人の参加がありました。2月19日には地域の茶の間の交流会を開催し、運営上の課題や取り組みについて意見交換を行いました。		

2 健康寿命の延伸を目指し、健康づくりを推進します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	2016実績	2017実績	2018実績	2019目標	2019結果			補足・参考指標
3	健康福祉課	健康寿命の延伸を目指し、健康づくりを推進します。	・西区健康活き活きチャレンジ事業 西区発！健康ステップアップチャレンジ(にしチャレ) 高齢者体操自主活動支援講座など	参加者延べ人数(人)	1,512	1,772	1,986	2,000	2,324	・【開催講座】 (1)地域健康リーダー育成講座(4回) (2)ウォーキング、ロコモ予防体操を行う「にしチャレ」(11回) (3)その他高齢者体操介護予防自主グループ支援等(76回)	新型コロナウイルス感染症対策のため、中止した講座がありました。目標を上回る参加を得ました。(計88回実施) (1)地域健康リーダー育成講座(6回) (2)にしチャレ(11回) (3)その他高齢者体操介護予防自主グループ支援等(71回)	達成
			・健康寿命延伸事業 ハイリスク者健康相談事業(西区発！健康アップ事業) ハイリスク者動脈硬化予防教室(めざせ！しなやか血管スクール)	ハイリスク者健康相談、ハイリスク者動脈硬化予防教室の参加者延べ人数(人)	—	197	190	190	194	・【対象者】 血圧、脂質、血糖が有所見で、特定保健指導を受けない者 ・【参加者内訳】 (1)ハイリスク健康相談140人 (2)ハイリスク動脈硬化予防教室50人	ハイリスク健康相談141人、ハイリスク動脈硬化予防教室53人の参加がありました。新型コロナウイルス感染症対策のため、3月中の健康相談事業は中止しましたが、目標を達成することができました。	
			・健康寿命延伸事業 小新地区特定健診未受診者対策事業	訪問による受診勧奨の実施人数(人)	—	—	—	対象者の全て	対象者の全て(283)	・小新地区の特定健診3年連続未受診者への対策として、特に割合が高い町内を選定します。 ・【対象者数】 299人(小新、小新南、小針8丁目、寺尾前通の4地区)を見込んでいます。	対象者286人中、拒否3人を除く283人への全数訪問を行い目標を達成しました。面談に応じた212人へ受診勧奨を行い、3月現在で23人の受診行動を確認しました。面談の際に全く無関心だった71人には「新潟市発健康行き」を配布し周知を図りました。	

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況	評価	
				項目(単位)	2016実績	2017実績	2018実績	2019目標				2019結果
6	西地域保健福祉センター	健康寿命の延伸を目指し、健康づくりを推進します。	・健康寿命延伸事業 特定健診モデル地区未受診者対策事業	中野小屋地区の「瑞穂祭」にて健診についてのアンケートを実施し、「受けない」と回答した人へ受診勧奨(人)	—	—	—	「受診しない」と回答した人へ全員	27名全員に受診勧奨実施	・アンケート:健診を「受ける」「受けない」の2択で「受けない」と回答した人に個別勧奨します。	受診に関するアンケートの回答者226名中、「受けない」と回答した人27名(男10、女17)全員に話を聞くことができ、受診勧奨を実施できました。 当事者だけでなく一緒にいた家族とともに話ができたことで、家族同士の健康に対する意識づくりができました。	達成
7			・「いきいき元氣塾」をコミ協単位の地区内で開催	コミ協単位で「いきいき元氣塾」を実施(回数)	7	7	10	14	16	・昨年度までコミ協単位で開催実績に偏りがありました。今回、広く担当地区内に元氣塾を開催し、地域住民への健康に関する意識の向上を図ります。 (開催内訳) 内野・五十嵐まち協 5回 西内野コミ協 2回 コミュニティ中野小屋 2回 コミュニティ佐潟 5回	4コミ協ともに目標としている回数は達成できませんでした。 内野・五十嵐まち協 6回 西内野コミ協 3回 コミュニティ中野小屋 2回 コミュニティ佐潟 5回	達成
8			・新規の難病患者へ地区担当保健師が連絡を取り療養を支援	新規申請者への連絡支援(件)	—	—	—	新規申請者全員	新規申請35件中35件(3月23日現在)	・難病の新規申請者に対し、地区担当の保健師から制度説明や相談窓口など伝えることにより、安心して生活していただきます。 2018年度新規申請数:39件 2017年度新規申請数:23件	新規申請後、センター内会議にて適切な支援時期を決め、関わっています。	達成
9	黒崎地域保健福祉センター	健康寿命の延伸を目指し、健康づくりを推進します。	・健康寿命延伸事業 黒崎地区特定健診未受診者対策事業	・2019年度新規3年未受診者に受診勧奨チラシの送付人数(人) ・2019年度電話による重点対象者に電話での受診勧奨の実施人数(人)	対象者の全て ・電話による対象 500(不連絡)	対象者の全て ・電話による対象 219(不連絡)	対象者の全て ・電話による対象 183(不連絡)	対象者の全て ・電話による対象 251	・新たな2016~2018年度未受診者に、郵送による受診勧奨を実施します。 ・新たな2016~2018年度未受診者及び2017、2018年度電話による受診勧奨から「受診する」と回答した方等を重点対象者として電話で受診勧奨を実施します。	電話による受診勧奨対象者338人のうち、電話番号がわからない人、転居した人、すでに特定健診受診済みの人を除いた231人に電話をした結果、不在や留守電を除く183人に受診勧奨ができました。「受診する」と答えた人は、H29年から受診勧奨した人の43%、今年度初めて受診勧奨の29%を占め、継続して働きかけることで、健診への意識が高まると考えられます。	達成	
10			・食生活改善推進委員との連携による減塩対策事業、運動普及推進委員との連携による運動推進事業 【重点テーマ】 適切な塩分摂取運動の普及	・食生活改善推進委員及び運動普及推進委員との連携による健康教育の実施(回数)	—	—	11	15	18	・食生活改善推進委員・運動普及推進委員との連携により、黒崎茶豆夏の実健康応援コーナー、小中学校との連携事業、地域の各種集まり等において、減塩や運動普及のための健康教育を実施します。	老人会やサロンなど地域住民の集まる場において、健康寿命の延伸に向けた健康教育を実施したほか、黒崎地区内の小中学校の生徒・児童を対象に減塩教育を行い、合計18回啓発活動を行いました。	達成

3 子育て中の親の孤独感、不安感を軽減させ、健全な子育てを支援します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況	評価	
				項目(単位)	2016実績	2017実績	2018実績	2019目標				2019結果
11	健康福祉課	子育て中の親の孤独感、不安感を軽減させ、健全な子育てを支援します。	・子育て支援講座の実施 ・子育て支援関係者の交流会を開催 ・子育て情報誌の発行 ・妊娠期及び3歳までの乳幼児を育てている人を対象に子育て支援情報をSNS(LINE)で配信	子育て支援情報配信事業の受信登録者数(人)	—	—	—	1,000	1,740	・【登録者数内訳】 (1)子育て支援情報配信事業 受信登録者数 妊娠期:2017出生数1,167人の25%(≒200人) (2)育児期:2017出生数1,167人×3(0~2歳)の25%(≒800人)	登録者数は順調に増え、1,700人超となり、本年度の目標としていた1,000人を大幅に超えました。 「にっこはぐくみLINK」の配信を開始し、育児の孤独感の軽減を図り、健全な子育てを支援しました。	達成
12	西地域保健福祉センター	子育て中の親の孤独感、不安感を軽減させ、健全な子育てを支援します。	・センター内でケース検討会を実施し、様々なケース対応について学び合います。	検討事例(数)	—	—	—	15	29	・特定妊婦・児童虐待ケース・処遇困難ケースなどを検討し、職員のスキルアップにより住民への支援の質の向上を図ります。	延べ検討数 29ケース(実22ケース) 虐待関係 4ケース 特定妊婦 8ケース その他 17ケース ケースを紹介・説明するにあたり、何が課題となって検討が必要なのかを整理して説明する力や、ケース概要をわかりやすく板書するなど、職員の人材育成を図りました。	達成

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	2016実績	2017実績	2018実績	2019目標			2019結果	補足・参考指標
13	黒埼地域保健福祉センター	子育て中の親の孤独感、不安感を軽減させ、健全な子育てを支援します。	・「シャペリーナ(保健師の保育園定期訪問による育児相談)」の実施	・親との育児相談および保育園との情報交換の実施(回数)			54	54	47	・2011年度から、保護者の育児相談と保育園と保健師との情報交換の場として事業実施。管内9園に隔月に定期開催予定(9園×年6回)で合計54回の確実な実施を見込みます。	新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、3月の開催を中止したため、目標回数は達成できませんでしたが、保健師が保育園を定期訪問し、育児相談や保育士との情報交換を行い、育児不安の軽減や健全な子育てに向けて支援しました。	一部未達成
14			・地域における子育て支援者を対象に、情報交換会・ネットワーク会議及び子育て支援講演を開催	・講演会・情報交換会・ネットワーク会議の実施(回数)	3	4	4	4	4	・子育て支援講演会・情報交換会、学校とのネットワーク会議を開催し、支援機関の活動紹介及び情報交換を行い、相互の活動の理解を深めます。		

4 地域防災力向上のため、津波や洪水などの自然災害から自らの命を守ることができる地域づくりを進めます。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	2016実績	2017実績	2018実績	2019目標			2019結果	補足・参考指標
15	総務課	地域防災力向上のため、津波や洪水などの自然災害から自らの命を守ることができる地域づくりを進めます。	・津波や洪水の浸水想定データなどを利用した地域の避難マップづくり	地域の避難マップ(データ)完成数(累計)	24	33	40	48	48	・自主防災組織や自治会・町内会を単位として、ワークショップを3回開催して作成します。	各地域でワークショップを開催し、「地域の避難マップ」を8地域で完成させ、全世帯分を配布しました。	達成

5 「くろさき茶豆」や「いもジェヌ」など西区の特産農産物の知名度向上と消費拡大を推進します。また、農商工連携により高付加価値化・ブランド化に取り組み、商店街や地域の活性化にもつなげます。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	2016実績	2017実績	2018実績	2019目標			2019結果	補足・参考指標
16	農政商工課	「くろさき茶豆」や「いもジェヌ」など西区の特産農産物の知名度向上と消費拡大を推進します。また、農商工連携により高付加価値化・ブランド化に取り組み、商店街や地域の活性化にもつなげます。	・首都圏市場やアンテナショップ、関係者会議などでのPR ・「くろさき茶豆夏の陣」の開催 ・いもジェヌの生産面積拡大支援や加工商品の開発支援	首都圏等向けPR実施回数(回)	18	31	21	18	23	・首都圏向けPR内訳 首都圏等でのPR 15回 首都圏バイヤー販売会議等 3回 (2017年度は首都圏での茶豆GI登録関連PRを実施 13回)	首都圏等において、西区特産農産物のPRを23回実施し、目標を達成しました。 例年の首都圏でのPRに加え、県外者へPRできる様々な機会を活用し、知名度向上と消費拡大を推進しました。	一部未達成
17			「くろさき茶豆夏の陣」協力店舗数(店)		15	16	16以上	20		くろさき茶豆の一層の知名度向上を目指し、黒埼地域だけでなく、内野・赤塚地域の店舗にも協力を依頼し、目標を達成しました。		
18			いもジェヌ栽培面積(ha)	20.6	21.5	21.0	21.0以上	20.0		一昨年の大雪で育苗施設が倒壊した生産者が耕作をやめたため、目標を下回る結果となりましたが、他の生産者がその減面積を補うために尽力したことにより、わずかな減少に留まりました。 今後は、新規生産者を増やす等の対策を、JAと共に検討していく必要があります。		